



雨中で熱戦

ハンディ別に男女5クラスで表彰

参加最年少、ベストグロスの 14 歳の関凌之助 (UMK) が優勝
最年長、81 歳の佐藤徳郎 (熊本空港) が男子 B で 2 位



JGA 杯 J-sys 選手権の予選を兼ねて熊本県菊池郡菊陽町の熊本空港カントリークラブ (男子 6649 ㌦、女子 5929 ㌦ = パー 72) で行われ、ハンディ別に男子 3 (A1、A2、B) クラス、女子 2 (A、B) クラスで優勝を争った。

優勝したのは男子 A1 が 69 歳の神原武男 (周防灘) でグロス (G) 75、ハンディ (H) 7.6、ネット (N) 67.4、A2 は 14 歳、宮崎・日章学園中 2 年、関凌之助 (UMK) = G73、H10.0、N63.0、同 B は木下英文 (中九州) = G83、H13.7、N69.3。女子は A で植津恵子 (北九州) = G83、H12.0、N71.0、同 B は大嶋弓子 (阿蘇) = G92、H16.3、N75.7。いずれも初優勝だった。

A2 で優勝した関は出場最年少で、73 はベストグロス。出場最年長 81 歳の佐藤徳郎 (熊本空港) も男子 B で G86、H16.6、N69.6 で 2 位と健闘した。

この大会は JGA ハンディキャップの普及と、アベレージゴルファーにも公式競技の緊張感と楽しみの機会を、と開かれているもので、昨年からは JGA 主催の全国大会も始まり、九州勢は女子 B クラスで 11 歳の岩永菜実 (鹿児島シーサイド、当時鹿児島市立向陽小 6 年) がグロス 84 (ネット 67.8) で初代チャンピオンになっている。

クラス分けは男子 A が Hdcp12.4 までだが、出場者多数のため A1 (Hdcp7.9 まで)、A2 (同 8.0~12.4) に分けて実施。同 B は 12.5 以上。女子は A が 15.4 までで、B は 15.5 以上。

今大会には 14 歳から 81 歳までの幅広いプレーヤー計 110 人が出場。あいにくの雨模様の中での戦いになったが、1 打を競う熱戦が展開された。

気象条件は雨で気温 19.2 度、北西の風 1 m (正午現在)。

全国大会出場権は各クラス上位 4 人 (タイスコアはマッチングスコアカード方式で選抜) で、男子 A は 1、2 クラスから計 4 人を選抜した。今年の第 2 回 JGA 杯 J-sys 選手権 (JGA アンダーハンディキャップ競技) は 11 月 30 日、兵庫県の宝塚ゴルフ倶楽部新コースで行われる。



優勝者たち



男子A1優勝の神原武男(69)

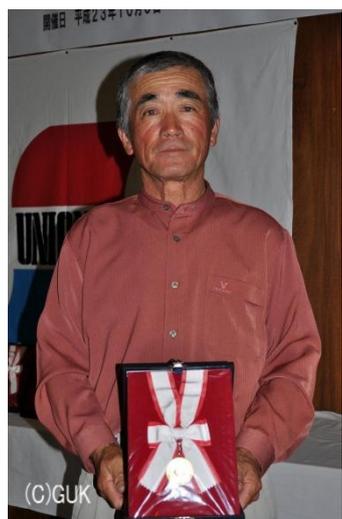
実は前夜、歯が出血して一睡もできなかったそうだ。「頭がぼうっとして」とは言うものの、そんな中での優勝。「(75のスコアは)満足ですよ。ここはバンカーが効いているし、今年の日本シニア選手権の会場でラフがきつかったけど、アプローチ、パットがよかった」と言う。そのパットは3パットなしの計28パット。今年は11月の日本グランドシニア(南九州CC)の出場権も得ている。「ハンディキャップの全国大会も出てみたかったんです」と、次は全国Vを狙う。



男子A2優勝の関凌之助(14)

この日マークした73はベストスコアでネット63.0は他を圧倒した。「このコースで、この日の天気(雨)ではまあまあです」と言う。178センチの長身からのドライバーの飛距離は平均280ヤード。この日は2バーディー、3ボギーとまとめ、初めての公式競技タイトルを手にした。

宮崎・日章学園中2年。小学3年、9歳からのゴルフで、先輩には今年の九州ジュニアで優勝した香妻陣一朗(高2)やその姉でプロになった香妻琴乃がいる。「全国大会は親と相談して(出場するかどうか)決めるけど、出たい」。キャリアを積んで、「まずは来年の九州ジュニアを取りたいし、いずれは日本ジュニアも」と今後の目標を口にした。



男子B優勝の木下英文(62)

「今日は(雨で)ランがなくて苦しかったけど、83のスコアはベストに近いスコアです」とニコニコ顔で話してくれた。この日のラウンドでよかったのは、「パターです。3パットはありませんでした」。土木業を営み、48歳からのゴルフ。知人に勧められて始めたが、もっぱら楽しむゴルフ。もちろん、選手権にも挑戦しているが、「九州シニアは県予選でカットばかりで…」だそう。念願かなって、初めての全国大会。「九州代表として頑張ってきます」というのが抱負だった。



女子A優勝の植津恵子(65歳)

「優勝なんて自分でも信じられない」と優勝に驚きの笑顔。この日のラウンドを振り返ってもらおうと、午前中は、「ほとんどのホールでパーオンできた」そう。雨になった後半は「グリーンでバタバタしてしまった」ものの、安定したショットで勝利を手繰り寄せた。実は1年前にギックリ腰をやって、今や腰痛が悩みの種。「手打ちでごまかしごまかしのゴルフ」というが、雨の中を83のスコアは立派なものだ。



女子B優勝の大嶋弓子(56歳)

「今日はドライバーが真っ直ぐ飛んでくれた。けど、パターがダメで...」。ゴルフのキャリアは「15年以上」と言い、グロス92のスコアは「このコースでは上出来でしょう」とにっこり。全国大会でも「マイペースで楽しむことができます」と話してくれた。